

名古屋文理大学／名古屋文理大学短期大学部／名古屋文理栄養士専門学校

医療の現場で人の役に立ちたい

大学を卒業して4年目、現在は名古屋医療センターの中で栄養相談や、NST (Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム) の一員として働いています。

子供の頃に、不自由だった祖父の姿から「何か自分にできることは無いか」と、もどかしく思ったことはありました。その後、食事の面からも症状の改善など、人を健康にすることができるということを知り、「これなら自分にもできる」と名古屋文理大学に入学しました。

大学時代も病院に臨地実習に行き管理栄養士の重要性を大変さと共に学び、ますます目標に対する思いは強まりました。卒業後は少し分野の違う仕事をしていたのですが、縁あって今の病院に勤務することができ、今は子どもの頃に何もできなかった自分に対し「頑張っているよ」と胸を張れます。

もっとみんなが健康に暮らせる社会にしたい。

病院なのでやりきれない思いををするときはあります。でも自分の担当した患者さんが元気になって退院していくときや、そのときに「ありがとう」と言われるとすごく嬉しいですね。患者さんだけでなく自分自身も救われます。今はまだ病院での栄養士という立場や認知度が低いので、もっとこの職種を認めてもらって、みんなが栄養に、健康に関心を持って暮らせる社会にしていきたいです。



厳しくもやさしい平田室長と調理室で

活躍する卒業生 第3回

名古屋医療センター・管理栄養士

有藤 健太郎

Kentaro Uto

名古屋文理大学 健康生活学部 健康栄養学科
平成19年度卒

独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 栄養管理室

〒460-0001 名古屋市中区三の丸四丁目1番1号
TEL052-951-1111 FAX052-951-0664

【事業内容(栄養管理室)】

個々の入院患者の病状や体質に応じて栄養処方を行い、調理。
また、栄養相談室、栄養サポートチームの一員として患者の栄養管理を実施している

心の体温を上げる。

毎回、オープンキャンパスでは多くの学生諸君が運営に携わってくれています。酷暑の中、すべての学生が最高の笑顔と『ここは楽しいからおいでよ。』『来年、待っているから。』の言葉でもって、高校生に希望を与えています。決して狭くないキャンパスの中を、それこそ汗まみれになりながら高校生に付き添い、何度も懸命に説明する姿には心を打たれます。きっと我々教職員が語るよりも何倍、何十倍も心に残る印象を高校生は受け取ってくれた事でしょう。ともすれば『熱意』『懸命』『真摯』なんて敬遠されがちな世の中かも知れませんが、少なくとも“文理の学生”は熱意を持って伝える大切さを理解していると私は確信しています。参加者からのアンケート結果における担当学生への高評価がその証左でしょう。

日々、不器用ながらも前に進もうとする学生達の姿を目の当たりにするにつけ『ああ、この青年達の未来は大丈夫だ。』と思うとともに『彼らに負けないくらい、私ももっと熱くならなくては。』と意を新たにしている自分がいます。名古屋文理大学は小さな大学ですが、熱い学生の数ならばどこにも負けません。本学の学生は私の心からの自慢なのです。

どうぞ学園関係者の皆様、心の体温計が振り切れる程の熱量で学生達と向き合って下さい。無尽蔵の可能性を持つ若者の人生に関わりを持てた喜びを、きっと今まで以上に実感できる筈ですから。



理事長・学長

滝川 嘉彦

TAKIKAWA YOSHIHIKO

情報メディア学部開設



2012年4月「情報メディア学部」を開設します。1986年情報処理科(当時名古屋文理短期大学)から始まり26年の歴史と実績を持つ名古屋文理の情報教育を、進歩の著しい最新の情報メディア分野に対応して発展させ、4年制大学開学の1999年以来続いてきた情報文化学部を改組して、未来を拓く新しい学部としてスタートします。

情報メディア学部は「情報メディア学科」1学科で、芸術の体系のもとにCG・コンピュータミュージック・デジタル映像などのコンテンツ制作を目指す「メディアクリエーション」、コンピュータネットワークやモバイルシステムの技術を学びシステム開発を目指す「情報システムデザイン」、マスコミ・広報・マーケティングなどを学び企業での活躍を目指す「PR・コミュニケーション」の3つのコースから成ります。芸術的感性と確かな情報技術そして社会に役立つ視点の3つによる文理融合型の新学部です。iPadをはじめとする1人1台の情報端末や無線LAN環境下で、ユビキタス、クラウド、モバイル、ソーシャルコミュニケーションなど最新の情報メディアをテーマに新たな学びと実践が始まります。情報メディア学部情報メディア学科は「食と栄養と情報」の名古屋文理大学の一翼を担います。

全学

大震災の 現地ボランティアに参加して

PR学科3年 駒屋 築

東日本大震災の復旧支援のため、6月初めの5日間、岩手県でボランティア活動に参加しました。個人でどうしたらよいのか迷っていたところ、日本財団による学生泥かき隊「ながぐつプロジェクト」の隊員募集を知ったのです。

ツアー方式のボランティアは、その後、旅行社なども始めましたが、日本財団の企画はかなり早く、寝袋などの装具一式と食糧持参、東京からの往復バスだけは財団が用意するというものでした。順番待ちの後、20人で現地に向かいました。大部分は東京周辺の学生で、新幹線で駆けつけたのは、京大生と私の2人だけでした。それでも、現地で汗を流し、他大生と熱い思いを共有できたのは、得難い体験でした。

私たちの活動場所は、悲惨な状況がしばしば報道されていた陸前高田市と大槌町でした。拠点になる遠野市の体育館から通い、ガレキ撤去やヘドロの掻き出しなどを行いました。

現場に立ち、荒漠とした風景に圧倒されました。テレビで見て大変だとは思っていましたが、やはり、自分の目で見て、肌で感じるのとは違います。何もない別世界に、言葉を失いました。

それでも、現地の人たちは立派でした。ある家のガレキ撤去を



水田からのガレキ撤去作業。前列中央正面向きが、本人

始めたところ、そこの男性に、「ここはいいから、あっちのおジちゃんのをやってあげて」と言われました。苦しんでいる人たちの中でも、支え合い、助け合いがある。心を打たれました。

遠野の体育館は、他団体も含め500人ほどでザコ寝でした。2日目の夜、震度3の余震があったのですが、揺れる30秒前くらいに、皆の携帯電話が一斉に鳴り響いて目が覚めました。500台の携帯に、地震警報が届いたのです。その音の大きさに驚くと同時に、巨大余震に対する意識の高さに感心しました。

私がしたことは、一握りの砂に過ぎませんが、貴重な体験ができたことに感謝し、これからも継続的に支援していきたいと思います。

全学

東日本大震災義援金のお礼

本学園では、平成23年3月11日発生の中日本大震災において被害に遭われた方々への義援金を受付けておりまして、教職員の方々をはじめ、在学生の皆さんからも多額の温かいご支援をいただきました。ご協力ありがとうございました。総額417,986円もの義援金が寄せられたことをご報告いたします。

お寄せいただきました義援金については、学園のパブリシティ活動にご協力願っております中日新聞社へ出向き、直接お渡し致しました。

被災地復興には長い時間がかかると思われますが、今こそ日本人の英知と団結力で国難を乗り越える時と考えます。

皆様方におかれましても引き続き、「自分にできること」での支援をお願いしたいと思います。



後藤事務局長から中日新聞社会事業団事務局長 深見豪氏へ義援金をお渡ししました。

全学

一宮商工会議所と 産学連携包括協定を締結しました

一宮商工会議所(森克彦会頭)と3月31日、産学連携活動に関する包括協定を締結しました。おもに地域産業や経済産業の振興および地域ブランドの創出などについて、お互いが連携して取り組むことを約束しました。これまで、一宮商工会議所から食育イベントやアンテナショップの来店者アンケートの集計分析を依頼され実施してきました。今回の協定締結を機に、産学連携を一層推進し、地域資源の有効活用や人材育成などに貢献していこうと考えています。現在は、一宮モーニングプロジェクト推進のため、新メニューの開発、フードコーディネーター、PR戦略について共同して活動を行っています。



全学

小牧市と連携協力に関する 協定を締結しました

小牧市(山下史守朗市長)と7月28日、連携協力に関する協定を締結しました。連携する項目は、市民への情報発信や対外的なPR活動の強化、地域ブランドの創出など

です。小牧市と本学が持っている教育・研究資源を効果的に活用することで、学生への教育機会の提供による人材育成が可能です。

本学として初の自治体との連携となります。小牧市は主に市のPR活動についての連携協力を期待しており、本学としてはこの分野での信頼関係を構築した上で、将来的にはその他の幅広い分野で協力関係を深めていきたいと考えています。



全学

西尾信用金庫と 産学連携包括協定を締結しました。

西尾信用金庫(近藤実理事長)と7月20日、産学連携活動に関する包括協定を締結しました。今回同金庫から本学に提携協力の申し入れがあり実現したものです。同金庫は企業支援部に地域支援課を新設するなど地域活性化に力を入れており、担当部署を窓口として、西尾の地元企業と本学を結ぶコーディネートの役割を担うことになります。連携項目としては地域産業や経済の振興、まちづくりおよび地域ブランドの創出などです。本学としては初の民間企業との包括連携協定であり、また同金庫においても初の試みとなります。西尾の中小企業においてはマーケティング活動が悩みの種となっていました。今回の締結により大学のない西尾市において、大学の知的資源や若い学生のアイデアなどを生かして地元の活性化を図ろうとしています。



大学

基礎教育センター開設!

基礎教育センターは、大学という高校までとは全く違う学びの場に新入生の皆さんがスムーズに溶け込めるよう、1人ひとりに教員が寄り添いながら全力で学習をサポートします。基礎教育センターが行う日本語力Ⅰ・Ⅱと数的処理Ⅰ・Ⅱという2つの授業では、大学生として必要な表現力やコミュニケーション力、更に社会に出てからも必要な統計数字の読み方を身につけます。文章デッサンやまんが制作、編集などのほか、視聴率の計算や降水確率の見方など、身近で具体的な問題を先生や友達といっしょに考えます。楽しく学びながら、大学生らしい学びのスタイルを身につけてください。

大学

健康栄養学科

国家試験対策の 夏期講座を開催しました

8月17日(水)から9月15日(木)の1ヶ月間は土日を除き毎日、4年生を対象に国試対策の夏期講座を開催しました。夏休みは実力をつけていく時期です。従来は午前中の講義だけでしたが、こしは午後も含めて1日中おこないました。午前中は担当教員が講義をおこない、午後は学生が自分で学習する時間としました。自習は2教室に分かれ、個人勉強とグループ勉強に分かれました。どちらも教育スタッフがついて、質問等に対応するとともに、出欠もきちんととりました。力をつけるには自分で主体的に勉強するのが一番です。大学としては学生が意欲を持って取り組めるような環境をつくるのが大事ですが、今回は「勉強時間をつくる」ということを大きな目標に試みました。来年春の試験に良い結果が現れることを期待しています。

大学

情報メディア学科

モバイル研究会を開催

2011年日本で初めて新入生全員にiPadを無償配布した情報メディア学科では、2012年から情報メディア学部として3コースによる新カリキュラムを予定しています。新学部を記念し情報メディアの未来像を教育の視点から議論するため、モバイル学会主催の第12回モバイル研究会「モバイルと情報メディアの未来」を9月3日、本学との共催により稲沢キャンパス・ソフィアホールで開催しました。日本各地から70人を超える参加者が集まり、【パネルディスカッション】「教育の情報化とソーシャルラーニング」、【一般講演】「iPadの大学教育への導入」が行われました。伊藤一成先生(青山学院大)をはじめとする各界6人のパネリストから、ICTやソーシャルメディアによる新しい学びと、機関を超えた連携が提言され、一般講演ではiPadを導入した3大学から実践報告がなされました。本学からは、本多一彦教授がパネリストとしてiPad利用を効果的にするLMSの実践を紹介、本学卒業生でもある長谷川旭図書情報センター主任が一般講演でiPadの教育効果を報告し、高い関心を集めました。



モバイル学会研究会パネルディスカッション

大学

フードビジネス学科

寄付講座を開講します

今秋は、フードサービス協会の寄付講座が開設されます。学科はたゆまず成長し続けており、寄付講座の開設によってさらに発展できるものと期待できます。

講座は、9月28日より毎週水曜日に開催し、どなたでも受講できます。お問い合わせはエクステンションセンターへ。講師陣は企業の第一線で活躍されている次の方々です。物語コーポレーション人財開発部長、木曾路人事本部長、デザイナーフーズ社長、柿安本店社長、JR東海フーズ事業部長、コメダ社長、重光MD推進室室長、荻番屋役員秘書、タニザワフーズ取締役(敬称略)



大学

PR学科

稲沢まつりにおいてイベント 「市民防災セミナー」を実施

PR学科3年生の選択科目「イベント企画演習」では、広告会社のプロモーション局長である沖本渉先生の指導のもと、イベントの企画・実施を学んでいます。授業の一環として昨年に引き続き稲沢まつり期間中に学生企画によるイベントを実施いたします。今年は東日本大震災の発生を受けて、被災地を慰安訪問したクラウンさん(道化師)による現地レポートに続き、名古屋大学大学院教授の福和伸夫先生による講演「今日から始めよう防災対策」というプログラムです。10月15日(土)13時30分より稲沢市民会館中ホールで実施します。入場は無料ですので、卒業生の皆さまもぜひご参加ください。

短大部

食物栄養学科

食物栄養学科教育内容が 進化する

栄養士専攻では、栄養士としての目的意識、職業意識を明確化し、教育効果の向上と実力養成のため、24年度入学生からコース制を採用し、2年前期に栄養指導実践コースと調理・給食実践コースに分かれます。

栄養指導実践コースは栄養や健康に関心が高い学生、調理・給食実践コースは調理技術や献立作成に関心の高い学生を対象にしています。また、最近、できるだけ幅広い資格取得も期待されているところから、24年度から両専攻とも下記のような新たな資格取得が可能になります。

栄養士専攻：健康管理士一般指導員、食育インストラクター、フードスペシャリスト
製菓専攻：フードコーディネーター

短大部

食物栄養学科

食育事業報告

地域貢献の主たる事業として食育事業をスタートさせて今年で4年目になります。

今年度は事業の一部を全国栄養士養成施設協会からの後援を仰ぎ、助成金を得ることができ、より一層事業内容を充実させていきます。

事業内容としては、幼稚園児とその保護者を対象に、食育講座「季節の野菜のおいしいご飯」と親子料理教室を開催します。また、西区福祉協議会ハツラツ長寿推進事業の協力を得て、「イキイキクラブ」5カ所において高齢者を対象とした食育講座「水分摂取の必要性」と料理教室を実施します。

西生涯学習センターとの連携講座では、今年度新たに子供を抱えたお母さんを対象とした親子関係講座として、料理を中心とした「子供の笑顔は食事から」を5回シリーズで実施します。また、今年度も引き続き親子ほのぼのクッキング「チョコレートを利用したお菓子作り」を行います。

北生涯学習センターとの共催講座は2回目になりますが、「安心で健康な食とは？～身近な話題から考える～」4回シリーズで行います。

短大部

宮澤節子副学長の 講演会を開催します

食育事業の一環として、名古屋市西区役所講堂にて下記の通り宮澤節子副学長の講演会が開催されます。(西生涯学習センターとの共催)

演題は、「年代別 食の自己管理ーイキイキ健康のためにー」であり、文理での長年の教育・研究生活の集大成としての講演になるかと思えます。多くの同窓生の皆さんの参加を期待しております。

「年代別 食の自己管理ーイキイキ健康のためにー」

年代別に加齢による体の特徴を理解し、自分で良い習慣を取り入れる自己管理によって「食」を進め、いかに健康に年を重ねることができるか一緒に考えましょう。

開催日時：11月12日(土) 14:00～15:30

場所：西区役所講堂(西区役所2階：西区花の木2-18-1)
地下鉄鶴舞線浄心下車、4番出口から徒歩4分

定員：200名

費用：無料

申込：FAX 052-521-2230 E-mail necenter@nagoya-bunri.ac.jp

①「食」の講演会 ②氏名(ふりがな)

③郵便番号・住所 ④電話番号

を記入してください。

締め切り：11月1日(火) 締め切り

問い合わせ：名古屋文理大学短期大学部エクステンション・キャリア支援センター

TEL.052-521-2254まで

なお、申込者には確認のため折り返し、参加証を送付させていただきます。

短大部

介護福祉学科

人材育成のため 各種研修会を実施しています

介護福祉学科は、愛知県からの委託を受け福祉・介護人材確保支援事業を行っています。その事業の一環として平成22年度秋には、「栄養ケア・マネジメント研修会」を行いました。介護保険制度の下、土台となる「栄養ケア・マネジメント可算」までは取っているものの、それに付加される「経口維持加算Ⅱ」は取っていないという介護保険施設が多いようです。そこで「経口維持加算Ⅱ」を取るにはどうすれば良いのかを学ぶことを目的に開催されました。平成23年度秋には、名古屋市内のグループホームを対象に、「栄養ケア・マネジメント研修会」を開催する予定です。介護福祉サービスは、介護福祉士だけが担うものではなく、栄養士をはじめとする様々な専門職との協働により、更に優れたサービスになっていきます。平成23年度も、現場の実践に繋がる研修会を開催しています。

短大部

食物栄養学科

23年度食物栄養学科入学者数増加

高校生人口が減少するなか、4年制大学では受験者数が増加、短期大学では著しい減少傾向にあり、本学も厳しい状況に置かれています。その中で、23年度入学者数が栄養士専攻、製菓専攻ともに増加し、栄養士専攻は4年振りに1学年4クラス編成になりました。24年度もこの増加傾向を維持できるよう、教職員一丸となってオープンキャンパス、高校訪問、出前授業等に取り組んでいます。同窓生の皆様方には、今後とも本学の認知度の拡大と、身近な方への受験の働きかけにご協力お願いいたします。

短大部

副学長 宮澤節子先生 受章!! (2010/10/27)

日本私立短期大学協会創立60周年記念式典が挙行されました。式典において、多年にわたり短期大学教育の振興のために尽くされた功績に対し、文部科学大臣より短期大学部・副学長 宮澤節子先生に短期大学教育功労者表彰状が贈られました。



短大部

消費生活フェアへの参加

名古屋市栄のオアシス広場で名古屋市消費生活センター主催の「消費生活フェア」が開催されます。昨年のテーマは「野菜を賢く使おう」というタイトルのブースで、季節の野菜を廃棄の少ない様に部位別の調理方法や賢い保存の方法などを紹介しました。今年も、11月5日(土)～6日(日)同場所にて開催されます。本学のテーマは「健康効果を考えて野菜を賢くしよう」です。昨年も卒業生の方が何人が立ち寄っていただきました。一般の方も自由に参加できます。卒業生の皆様も是非お立ち寄りいただき学生の活躍を応援してください。

短大部

食物栄養学科

サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)に採用される

食物栄養学科では、独立行政法人科学技術振興機構が実施する理数学習支援の1つ「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」に応募し、採択されました。西区の西陵高校と連携し、「食と栄養と科学」という講座を開催します。食・栄養といっても日常的で、科学と関係のないように思える事柄が、実は理系の知識が基礎になっていること、そしてスポーツを含め、健康な生活を送るには科学的なものの見方、考え方がとても重要であることを理解してもらう内容になっています。この講座が、理科に興味をもち面白さを感じてもらえるきっかけとなることを期待しています。

専門
学校

新校舎(給食管理実習室)が完成

平成23年3月14日(大安吉日)、専門学校念願の新校舎(給食管理実習室)が完成しました。これまでにない斬新なデザインに誰もが目をうばわれます。早速、真新しい機器備品を稼働させ、学生等による給食実習が始まりました。

変化の激しい社会情勢の中にあって、栄養士としての知識も技術も、より実情にあった、より新しいものが日々求められます。本校は「食のプロを育てる」学校として最新の施設設備を配することで、栄養士・管理栄養士を目指す学生を強力にサポートいたします。

専門
学校

「健康料理教室」が好評です



一般の方を対象に地域貢献や生涯教育のニーズにこたえるために、昨年度10月から開講の「健康料理教室」、半期ごとに受講生を受入れて現在30名弱の受講生が登録しています。年齢層も受講理由もまちまちですが、みなさん料理好きな方ばかりで、「献立のバリエーションも豊富で、毎回楽しく受講しています」と好評です。地域のみなさんをはじめ、全学園の在生や卒業生、その関係者の方々の参加も大歓迎いたします。次の受講生募集は来年2月頃を予定しています。詳細は本学ホームページにてお知らせしますので、ぜひ、お見逃しのないように。

専門
学校特典付与!
「キャリアアップサポート入試」スタート

時代のニーズや受験生の志向の変化から、昨今、本学への入学志願者の半数以上が、社会人、あるいは大学等の卒業生が占めるようになりました。こうしたみなさんを積極的に受け入れ、生涯教育の一助となるよう学びの場を提供するのも本学の使命と考え、新たな特別入試制度「キャリアアップサポート入試」を実施することとなりました。自身のキャリアアップのために、栄養士免許取得を目指す強い意欲、目標、資質などを備えた社会人等を対象に、特に本学の教育理念をよく理解し、本学で学びたいと専願する方に向けて入学枠を設け、特典を付与する特別入試です。

※なお、従来に引き続き特別入試「同窓会会員関係者入試」も実施いたします。
※入試詳細は本学ホームページをご参照ください。

専門
学校専門学校卒業生の就職内定率
100%達成! 5年連続の快挙

専門学校卒業生の就職内定率が5年連続100%を達成いたしました。平成22年度卒業生も栄養士としての就職は全体の80%を超えています。未曾有の大不況、就活超氷河期の中、学生たちの強い意志、努力もさることながら、さまざまな分野でご活躍中の同窓生や関係企業・事業所の方々の暖かいご支援があつてこそ快挙と考え、心よりお礼申し上げます。

今後とも母校の後輩たちにご支援賜りますようお願い申し上げます。

女子ハンドボール部

女子第41回 西日本学生ハンドボール選手権大会出場!!

平成23年度東海学生ハンドボール選手権大会春季リーグ戦で4位となり、女子第41回西日本学生ハンドボール選手権大会(豊田スカイホール:8月8日~12日)に出場してまいりました。東海から4チーム、関西から7チーム、中四国から2チーム、九州から3チームの計16校が4グループにわかれてリーグ戦を行いました。本学は、関西大学、立命館大学、福岡教育大学と同グループでした。グループ上位2チームには11月に開催される全日本学生ハンドボール選手権大会に出場権が与えられるので、何とかグループ2位を目標として試合に挑みましたが残念ながら3敗に終わりました。今回は、地元愛知開催ということもあり教職員をはじめ学生の保護者も多数応援に駆けつけてくださいました。ありがとうございました。女子ハンドボール部の目標は、全日本学生ハンドボール選手権大会に出場して1勝を挙げることです。これからも、応援のほどよろしくお願いたします。



女子テニス部

第46回全国私立短期大学体育大会優勝!!

日本私立短期大学協会主催「第46回全国私立短期大学体育大会」が平成23年8月8日(月)~8月11日(木)に行われました。女子テニス:個人戦シングルスにおいて介護福祉学科2年、鎌三菜子さんが《☆優勝☆》というすばらしい成績を収めました。今後も一層の活躍を期待しています。



快挙!!

サイエンスサークル

実験や工作教室を通して科学の楽しさを伝えています

名古屋文理サイエンスサークル(NBSC)は、2005年の愛知万博出展以来、稲沢こどもフェスティバルに毎年「おもしろ科学実験ショー」を出展し、7年にわたる活動を続けています。近年は、小学校や子供会や自治体主催の催しでも科学実験や工作教室を実施しています。ペットボトルなど身近な道具でできる驚きの実験や工作は好評で、2010年には本学の公開講座や稲友祭に出展したほか、杏和高校の科学部と実験体験イベント、私立高校参加の市民フェスティバルで実験ショーなど、小中学校にとどまらず高校とのコラボイベントも実施しました。活動は、新聞やテレビにも何度も取り上げられ、社会からも高く評価されて、2010年4月には稲沢市母親クラブ30周年記念式



下津小学校オープンスクール「おもしろ科学実験教室」

典にて感謝状を、2011年5月には愛知県青少年育成県民会議より表彰状を受けました。2011年度は部長の萩野早紀(情報メディア学科2年)を中心に20人ぐらいで活動しています。

学生自治会

名古屋開府400年祭 なごや・きよす夢まつり「清洲越夢歩き」に参加しました



平成22年10月16日(土)『名古屋開府400年祭:なごや・きよす夢まつり「清洲越夢歩き」』に参加し、学園祭のPRをしました。

清洲城から名古屋城まで「名古屋おもてなし武将隊」や「はち丸」と共にパレードを行いました。



Professor File

ぷろ・ふぁいる

第3回

“本学教員の研究内容をお伝えます。”

落合 洋文(おちあいひろふみ)



プロフィール

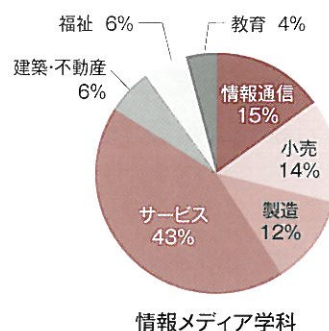
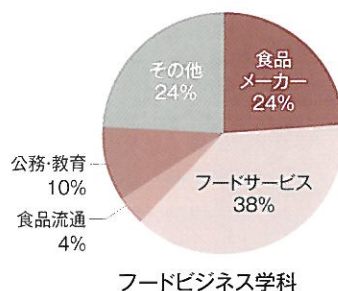
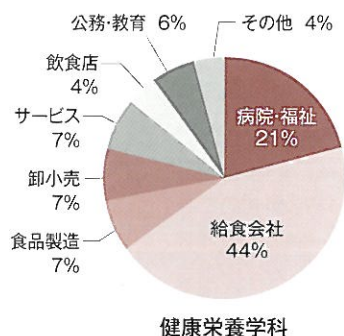
1982年京都大学工学部合成化学科卒業。1987年同大学大学院工学研究科修了。京都大学工学博士。1995年名古屋大学大学院人間情報学研究科前期課程修了。名古屋大学修士(学術)。外資系企業の研究員などを経て、1999年より名古屋文理大学教授。現在、名古屋大学全学同窓会評議員。専門は合成化学、化学史、化学哲学、科学批評。研究の一環で、名古屋大学野依記念物質科学研究館ノーベル賞展示室の化学史年表を監修・制作。著書は『情報化社会の虚像・実像』『生態的社会論・序説』『実験室の幸福論』『サイエンス・ライティング入門』ほか多数。著書はしばしば全国の国公立大の入試で引用されている。

大学では文章作成法や科学思想史を担当しています。文章作成法の授業では、いきなり腕時計を外して、「さあ、これを言葉で説明してごらん」なんてやるものだから、みんなびっくり。でも一人ひとりの机をまわって、その場で添削指導をするので大丈夫。半年後には、驚くほど文章が上達します。平成24年4月に発足する基礎教育センターでは、日本語力と数的処理を担当します。楽しく、大学らしく、お互いを尊重する、をモットーに、新入生の皆さんをちょっと過激に鍛えてみようかな、と思っています。

わたしはもともと実験室で化学反応の研究をしていましたが、いま興味をもっているのは、化学結合って本当に存在するの? みたいなことです。こういう問題を哲学的に検討して、化学の基礎固めができたらいいな、とひそかに考えています。素顔のわたしが知りたい人は、わたしのブログ「落合洋文の課外授業」をご覧ください。

■就職状況(大学)

■業種別内定比率(平成22年度)



■卒業生の主な就職先(平成22年度)

健康生活学部 健康栄養学科

【病院・福祉】国立病院機構名古屋医療センター／医療法人富田浜病院／ちた整形外科クリニック／社会福祉法人愛知慈恵会／社会福祉法人福寿園／社会福祉法人せんねん村／社会福祉法人長寿会／尾張健友福祉会ケアハウスあき
【給食会社】フジ産業／日本ゼネラルフード／日清医療食品／国際フードサービス／魚国総本社／トモ愛知／トモ岐阜／富士産業／サンフード／医療給食／日本海給食／共栄食品／栄屋食品／オーケーシー食品／ナリコマエンタープライズ／グリーンホスピタリティフードサービス／ホスピタルフードサプライサービス
【食品製造業】明治乳業(現 明治)／マルヨシ食品／三共食品／乃久知フーズ／お豆腐工房いしかわ
【卸小売業】杏林堂薬局／中北薬品／パティスリーキュルミネ／アルビオン
【公務・教育】西尾市教育委員会／島根県栄養教諭／稲葉地保育園／スカイ保育園

健康生活学部 フードビジネス学科

【食品メーカー】コカコーラ・セントラル・ジャパン／わらべや東海／ファーストフーズ／乃久知フーズ／スギ製菓／まつおか／レアルバスコペカリーズ
【食品流通】静鉄ストア
【フードサービス】日本レストランシステム／フロンコビリー／タニザワフーズ／若鯨屋／ミヤサカッキングスタジオ／一六
【公務・教育】泰阜村役場／名古屋文理大学短期大学部
【その他】豊橋商工信用組合／ブラダジャパン／ハートランド

情報文化学部 情報メディア学科

【情報通信業】リコーテクノシステムズ／旭情報サービス／沖縄日立ネットワークシステムズ／システムリサーチ
【製造業】東和工業／ソフトブレイン工業／睦工業／原田鉄工／金子コード
【小売業】ジャパネットたかた／パロー／ケースホールディングス
【建築・不動産業】三昭堂／藤城建設
【サービス業】レンタリース東海／エザキ／小林クリエイト／コーベベビー／弘光舎／引越社／パソナ／テニスラウンジ
【福祉】社会福祉法人福寿園／社会福祉法人和光会／シルバーホーム ほのほの
【教育】学校法人葛谷学園 中和医療専門学校

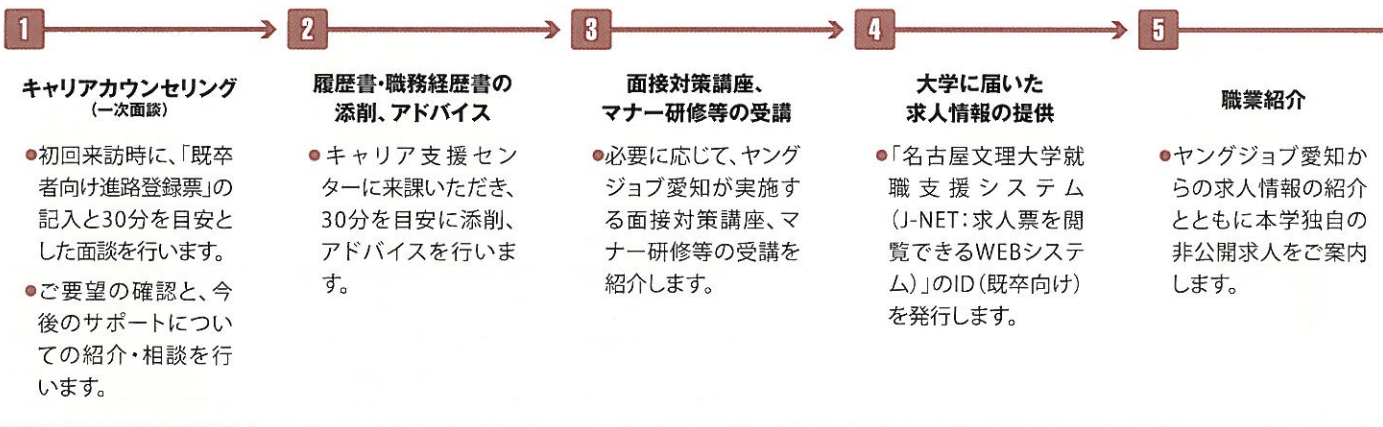
■卒業生の就職・転職支援について

キャリア支援センターでは、今までも来課する卒業生に対して求人情報の提供および相談対応を行ってまいりましたが、昨今の就職環境悪化に対応し、卒業生向け支援においてもこれを強化することとなりました。具体的には、職業安定法第33条の2に基づき、以下の職業紹介業務を行っています。



専門のキャリアカウンセラーによるマンツーマンの就職支援を実施

・就職支援の流れ



・就職支援の対象

年齢が30才以下の名古屋文理大学卒業生の方を支援の対象とします。

卒業生向け支援による 主な就職・転職先

国立病院機構 名古屋医療センター／国立病院機構 天竜病院／国立病院機構 医王病院／明治／社会福祉法人中日会／スカイ保育園／フジ産業／メグリアック／三菱電機ライフサービス 他

■就職状況(短大部・専門学校)

名古屋文理大学短期大学部及び名古屋文理栄養士専門学校のキャリア支援センターでは、学生の特性や指向性に合った職業に就くことができるようキメ細やかで、迅速丁寧な対応を心がけ、就職活動の全面的なバックアップを行っています。また、近年では卒業後の進路として、四年制大学への編入学及び各種専門学校への進学指導も行っています。さらに、本学の就職指導は在学中だけで終わらず、卒業してからも支援をしています！在学生同様の対応で就職力をアップするべくサポートしています。以上のように就職支援においては、万全の体制で臨んでいます。OB・OGからの求人も多くいただいております。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



短大部(平成22年度)

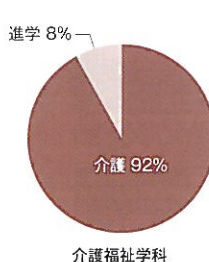
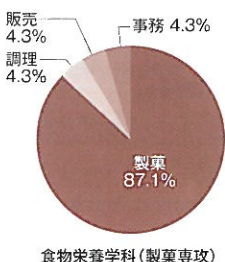
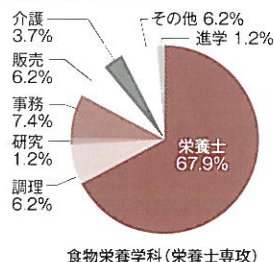
■就職内定率

食物栄養学科(栄養士専攻)
90.9%

食物栄養学科(製菓専攻)
100%

介護福祉学科
100%

■職種別内定比率



■卒業生の主な就職先

【医療福祉】

大垣病院／眼科杉田病院／好生館病院／富田浜病院／中野胃腸病院／和合病院／藤田保健衛生大学病院／深谷胃腸科／富田病院／メディカジャパン／愛生福祉会／さつき会／九十九会／東海病院／明範荘／カリヨン福祉会 他

【給食会社】

日清医療食品／日本ゼネラルフード／フジ産業／メーキュー／アイビス／レオック東海／ティー・エフ・ビー／トモ 他

【製菓】

ウィンウィン／ガトー・デュラメル／スリアン／セリュリエ／餅惣／ラ・ヴァール／ボルドー／ぶどうの木 他

【食品製造・飲食店】

ユーハイム／サンデリカ／桃の館／ノサキ製菓／ミセス・ハート 他

【公務・教育】

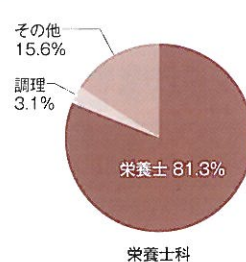
熱田保育所／葵ヶ丘保育園／惟信保育園／かわしま幼稚園／中野保育園／四日市市教育委員会／みどり保育園／王滝村役場 他

専門学校(平成22年度)

■就職内定率

栄養士科
100%

■職種別内定比率



■卒業生の主な就職先

【医療福祉】

好生館病院／富田浜病院／小山田記念温泉病院／ワタミの介護／和合病院／尾西病院／松葉内科／済衆館病院／中野胃腸病院／成祥福祉会 他

【給食会社】

日清医療食品／日本ゼネラルフード／レオック東海／ティー・エフ・ビー／トモ／大ー食品／シダックスフードサービス 他

【公務・教育】

上小田井保育園／あかつき保育園 他

◆インターンシップ研修受入のお願い

近年、大学において自主性・創造性を持った人材を育成するとともに、学生の就業観や勤労観を涵養することが重要であるとされ、産業界からもその必要性が唱えられています。本学においては、インターンシップ研修をカリキュラムに取り入れ、在学中に企業等において就業体験を行うことで、大学が企業ニーズを汲み取り教育に反映させることができると考えております。また、就業体験は学生の学習意欲を増進させ、企業・職場での見聞が将来の進路決定に役立つ社会経験となり、学生の就業意識を高め、卒業後に社会人としての適応能力が高まるものと期待しております。以上のような事情をご理解いただき、是非インターンシップ研修へのご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【インターンシップ研修の流れ】

1.対象学科

■フードビジネス学科

フードビジネス学科では「食」に深い関心を寄せる学生を、実業界との連携を図り、フードビジネスのさまざまな分野で活躍できるビジネスに必要なスキルを身につけたスペシャリストを養成しています。

■情報メディア学科

情報システムとメディア創造の2コースを横断的に学べ、一歩先の社会を実現する人材を育成します。プログラム、Web、データベース、デジタル機器や編集ソフトを自在に操り、人に伝える実践力を身に付けます。

■PR学科

PRは企業の「伝えたい」と「聞きたい」を実現する手法です。その実践には、ジャーナリズム・広告・マーケティングなど幅広い知識に裏付けされたコミュニケーション力が求められます。PR学科はその力を養成します。

2.対象学年 1～4年

3.原則としてつぎの期間に実施します。

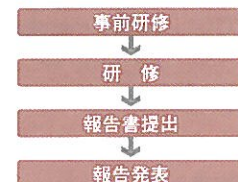
8月、9月の夏期休暇中の1～2週間 2月、3月の春期休暇中の1～2週間

4.申込み方法

6月と12月に学生に対してインターンシップ募集をします。

5.申込先 キャリア支援センター

6.単位認定



上記をすべて終えた学生に対して、インターンシップ運営委員会が単位を認定します。



同窓会から

名栄会

名栄同窓会会員の皆さまへ

日頃は同窓会活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。前年度より進めてまいりました同窓会法人化への手続きを済ませ平成23年4月1日付で一般社団法人名古屋文理大学短期大学部名栄会を設立することができました。

また、それにともない平成23年7月23日(水)キャッスルプラザホテルにおいて滝川嘉彦理事長、滝川桂子校長、宮澤節子副学長をはじめ、学校関係者をお招きして、設立記念祝賀会が開催されましたので報告いたします。これも皆様方のご協力のおかげと感謝いたします。今後とも一層のご支援ご協力をお願いいたします。

一般社団法人名古屋文理大学短期大学部 名栄会 会長 斐正宣



クラブ助成金贈呈式

平成23年7月29日(金)、佐藤副会長より各クラブに助成金の贈呈式を行いました。助成したクラブは以下の通りです。



バレーボール部／バスケットボール部／バドミントン部／硬式テニス部／インディアカクラブ／調理科学研究部／卓球部／パティスリーサークル／スーパの会／ソフトボール同好会／Art同好会

名栄祭のご案内

日時 平成23年10月21(金)・22日(土)

場所 名古屋文理大学短期大学部内

名栄会主催のイベントは、22日(土)に行いますので多数のご参加をお待ちしております。詳細については短期大学部および名栄会ホームページにてご確認ください。

—名栄会ホームページがリニューアルされました—

<http://www.nagoya-bunri.ac.jp/COL/meiei/member.html>

(今後の名栄会からの連絡は、名栄会ホームページに掲載いたします。)

[同窓会事務局へのお問い合わせ]

同窓会事務局 5館2F

開室時間：月・水曜日 午前10時～午後3時
(短期大学部の休業中を除く)

TEL:052-521-2251(内線521) FAX:052-521-2259

E-mail:meiei@nagoya-bunri.ac.jp

稲友会



平成22年度

卒業生に対する進学・学会参加への助成者からのメッセージ

名古屋文理大学が4年制大学へ改組転換してから12年が経過し、大学同窓会の稲友会としても、今後の卒業生の活躍が期待されます。そこで、開発・研究職として働く卒業生の萌芽的な活動への奨励として、大学院進学・学会参加に対して、次のように助成を行っています。

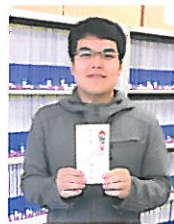
平成22年度 助成件数:2件 助成金額:3万円/1件

助成対象:名古屋文理大学卒業生のうち卒業後7年以内で、大学院進学、もしくはいずれかの学会の会員

なお、助成金授与式を平成22年10月30日(土)稲友祭1日目にいたしましたので、ご報告とともに助成者からのメッセージをお伝えします。

丸田 洋輔さん

平成20年度 情報文化学部 情報メディア学科卒業
勤務先:株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター
所属:モバイル学会



モバイル学会は、モバイルを活用する人間行動の社会的信頼性と安全の向上と適切利用の推進に寄与することを目的とした学会で、大学在学中には研究発表などの活動を行いました。

現在も会員として、論文誌の購読や研究会の参加をしています。私の卒業した情報メディア学科では、今年度新生生に対してiPadの無償配布が実施されましたが、モバイル学会でもiPadのようなモバイル・デジタルツールの教育活用の可能性などについて発表があり、母校での取り組みについて興味深く思っています。また、平成23年9月3日(土)には名古屋文理大学にて、モバイル学会の研究会「モバイルと情報メディアの未来」が開催され、久しぶりの母校の訪問ができました。

今回は、卒業生に対する進学・学会参加へ助成していただきありがとうございます。モバイル学会を通して、社会に、母校に寄与できるように多くのことを学んでいきたいと思います。

有藤 健太郎さん

平成19年度 健康生活学部 健康栄養学科卒業
勤務先:独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
所属:愛知県栄養士会・日本静脈経腸栄養学会・日本緩和医療学会



私は現在、名古屋医療センターで管理栄養士をしています。学会へは、愛知県栄養士会・日本静脈経腸栄養学会・日本緩和医療学会の学会に入会中です。学会や勉強会への参加はもちろんですが、研究発表なども徐々に取り組んでいます。発表はポスターセッションが中心ではありますが、愛知県栄養士会の生涯学習の講師としてシンポジウムでの発表や、国立病院機構の機関誌へ研究の投稿などもさせていただいております。

また、今年の4月からNST専従栄養士として業務に就いており、今回の助成金を資格取得のためにセミナー参加や研究発表等の参加費として活用していきたいと思います。

最後に、このたびは「進学・学会への参加の助成」に選考していただき誠にありがとうございました。

平成23年度以降も継続事業として「卒業生に対する進学・学会参加への助成」を行っていきます。助成対象者の方は同窓会webサイトより奮ってご応募ください。

※今年度の上記助成についての応募受付は終了しました。次年度につきましては詳細が決まり次第、以下の同窓会webサイト及びB-netブログに掲載していきますので随時ご確認ください。(平成24年4月中旬頃掲載予定)

名古屋文理大学同窓会・稲友会webサイト

<http://www.nagoya-bunri.ac.jp/classmate/index.html>

【科学研究費補助金等の実績一覧】

平成22・23年度は以下の科学研究費補助金・奨学寄附金・委託研究費・就職支援事業補助金を受け入れました。

平成22年度				(単位: 円)
科学研究費補助金	氏名	金額	研究課題	
基盤研究(B)	山田 弘明	4,940,000	デカルト書簡集の全訳プロジェクト	
若手研究(B)	松原 友子	910,000	コンピュータ診断支援システムにおける理解と利用しやすい結果の提示方法に関する研究	
若手研究(B)	後藤 千穂	1,430,000	生体指標を用いた妊産婦および妊娠前成人女性の栄養改善アプローチの検討	
基盤研究(C) 研究分担者	辻 とみ子	130,000	児童の食嗜好形成過程に着目した栄養教育介入とその検証	
基盤研究(C) 研究分担者	江上 いすず	130,000	筋萎縮性側索硬化症の栄養療法指針作成を目的とした基礎的疫学研究	
基盤研究(C) 研究分担者	中村 麻理	130,000	産業グローバル化先進都市地域の階層構造変動と集合行為レジーム	
奨学寄附金	氏名	金額	研究課題	
(財)堀情報科学振興財団	佐原 理	800,000	教育現場における教師・児童・生徒、親とのコミュニケーション問題解決のためのモバイルアプリケーションの開発	
カゴメ株式会社	芳本 信子	200,000	虚血マウスに対するリコピンの投与効果の検証	
(財)エリザベス・アーノルド富士財団	日比野 久美子	1,000,000	製パンにおける米粉の利用ーグルテンの品質特性および塩類の作用について	
花王株式会社	加藤 恵子	500,000	茶カテキン摂取が一般アスリートの運動後の尿中8-OHdG排泄に及ぼす影響	
委託研究費	氏名	金額	研究課題	
名古屋市上下水道局	芳本 信子	220,000	体と環境にやさしい料理レシピ等の研究及び作成	
愛知県下水道科学館	宮澤 洋子	398,475	エコレシピ企画展示会	
愛知県下水道科学館	宮澤 洋子	95,865	普及啓発用ポスター企画・監修業務委託	
一宮商工会議所	栗林 芳彦	75,325	モー1(ワン)グランプリ集計・分析業務	
一宮商工会議所	栗林 芳彦	9,350	ICHIMO(イチモ)来店者アンケートの集計・分析	
稲沢市	大学	32,000	稲沢市共催企画 大人のための英語発音獲得法	
就職支援事業補助金	教育機関	金額	事業名	
文部科学省	大学	9,500,000	「大学教育・学生支援推進事業」就職支援推進プログラム一地域企業と連携した求人・仕事情報の開拓と就職相談体制の充実	
(福)不二福祉事業会	短大部	3,598,560	厚労省「ジョブカード制度」実践型人材養成システム」の研修実施に対する講師の依頼	

平成23年度				(単位: 円)
科学研究費補助金	氏名	金額	研究課題	
基盤研究(B)	山田 弘明	3,120,000	デカルト書簡集の全訳プロジェクト	
若手研究(B)	後藤 千穂	1,170,000	生体指標を用いた妊産婦および妊娠前成人女性の栄養改善アプローチの検討	
基盤研究(C) 研究分担者	山住 富也	130,000	創造的思考力訓練を目的としたeラーニングの授業設計とその教育教材の開発研究	
基盤研究(C) 研究分担者	辻 とみ子	260,000	児童の食嗜好形成過程に着目した栄養教育介入とその検証	
基盤研究(C) 研究分担者	江上 いすず	325,000	筋萎縮性側索硬化症の栄養療法指針作成を目的とした基礎的疫学研究	
基盤研究(C) 研究分担者	中村 麻理	130,000	産業グローバル化先進都市地域の階層構造変動と集合行為レジーム	
奨学寄附金	氏名	金額	研究課題	
カゴメ株式会社	芳本 信子	200,000	虚血マウスに対するリコピンの投与効果の検証	
(財)エリザベス・アーノルド富士財団	日比野 久美子	800,000	製パンにおける米粉の利用ーグルテンの品質特性および塩類の作用について	
委託研究費	氏名	金額	研究課題	
名古屋市上下水道局	芳本 信子	220,000	体と環境にやさしい料理レシピ等の研究及び作成	
愛知県下水道科学館	宮澤 洋子	310,000	エコレシピ作成	

【一般寄附金のお願い】

平成22年度において、皆様方からお寄せいただきました一般寄附金により、学園祭等で使用します「イベント用テント」を購入いたしました。

学園コミュニケーションマークを入れたピンクと白色のテント設置により、学園祭が例年以上に華やかなものとなり、大変盛り上がりしました。今後も引き続き、卒業生の皆様をはじめ幅広く社会各層の方々からご支援賜りますようお願いいたします。

なお、寄附金の手続きにつきましては、同封いたしました「一般寄附金募集要項」へ記載してございますので、ご覧いただけますよう重ねてお願いいたします。また、ご不明な点については下記までお尋ねください。



【寄附者ご芳名】

平成22年8月1日から平成23年5月31日までの寄附者ご芳名を掲載させていただくとともに、ご芳志に対し厚く御礼申し上げます。

多くの方よりご支援賜り、ありがとうございました。

●企業

ナカシマ／竹内刃物製作所／
総合電気通信／紀伊屋書店

●個人寄附者

浅野 和成／斐 正宣／小野 恭子／加藤 壽代／神谷 俊行／川端 香代／栗原 利也／坂上 清／
榊原 淑子／笹俣 泰彦／佐藤 美香／竹内 宏子／武部 宏／野々部 知加／畠山 典男／山科 まゆ実／
吉田 昭

(敬称略、順不同、公表を了承された方々のみ掲載)

・問い合わせ先

〒492-8520 愛知県稲沢市稲沢町前田365(名古屋文理大学) 学校法人 滝川学園 事務局 経理課 寄附金係 TEL 0587-23-2400(代表)

「長生きのための食生活」

受講料
無料

健康で長生きするためには普通の食生活や、生活リズムの見直しを行い、正しい食生活を送ることが重要です。健康で長生きするためにはどのような食生活を送れば良いのか？大切なポイントをお話しします。なお、本講座ではミカンの試食を予定しています。

日時 平成23年10月29日(土)
13:30~14:30
会場 名古屋文理大学(N201)
講師 増田 昭二
対象・定員 成人50名
申込期間 9月22日(木)~10月14日(金)

親子料理教室③

シャカシャカ♪フリフリ♪ 親子でエコクッキング★

【MENU】

- ふっくらつややか♡きのこご飯
- シャカフリ♪手羽先
- 大人な味!? ふりふりえびのビーフン
- レンジのパワー! 3分スープ★
- ツルンとのと越し! お茶ゼリー

日時 平成23年10月29日(土)
10:00~13:30
会場 名古屋文理大学(調理実習室)
講師 宮澤洋子(宮澤ゼミ)
参加費 1人500円
対象 小学生以上の親子(1組3人まで)、
中学生以上は親子でなくても参加可
定員 16組(先着順)
申込期間 9月22日(木)~10月14日(金)

健やかワールド in 稲沢

申込不要
受講料無料

医師・管理栄養士・看護師
による栄養・養生・看護相談。
この機会に、健康について
考えてみませんか?

【栄養相談コーナー】

あなたの健康
メディカルチェックでさわやかライフ

【測定コーナー】

骨密度、体脂肪率、血圧・血行、血管
年齢、脳年齢、皮膚の弾力・水分量
測定、手洗いチェック等を測定します!

日時 平成23年10月15日(土)
10:00~15:00
会場 稲沢市民会館 小ホール

主催: 名古屋文理大学
共催: 愛知県看護協会尾張地区支部

【講座の申込方法】

申込み方法

FAX・メール・ハガキにて

①講座名 ②郵便番号・住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話・FAX番号
を明記の上、エクステンションセンターまでお申込ください。

お申込み・お問い合わせ先

名古屋文理大学エクステンションセンター

〒492-8520 稲沢市稲沢町前田365
FAX:0587-23-2461 E-mail:excenter@nagoya-bunri.ac.jp
TEL:0587-21-2826(直)(平日10:00~16:30) 0587-23-2400(代)

MY DREAM SHOP

洋菓子

【ブルヴァール・デ・ガトー BOULEVARD DES GATEAUX】

【本店】名古屋市中区堀通1-45-2 TEL:052-751-8073

営業時間/ am9:30~pm19:30 休休日/ 毎週月曜日(祝日営業)
http://boulevard-dg.jp/

【本山四谷通り店】

〒464-0819
名古屋市中区四谷通2-13
TEL:052-781-9233
営業時間/ am10:00~pm21:00
休休日/ 月曜日(祝日営業)

【RESTAURANT&CAFÉ BG CAFÉ】

〒460-0003
名古屋市中区錦3-15-13先 セントラルパーク地下街
TEL:052-951-0075
営業時間/ am10:00~pm21:30



★取材中もお客さまが絶えない人気店でした!
(取材・撮影 / ぶんり編集室)

昭和区の本店・本山四谷通りの「ブルヴァール・デ・ガトー」、セントラルパークの「BG CAFÉ」の3店舗を営む太田文明さんは、名古屋栄養短期大学栄養士養成所・栄養科を昭和55年に卒業。在学中は父親の洋菓子店を手伝い、修行に励みながら学ぶという多忙な日々を送っていた。

順風満帆に見えるが、この父親の洋菓子店を閉めてマイナスからスタートしている。そこから今の成功へと導いたのは人との繋がりが多かったという。「たまたま知人から話があり、それに乗ってきただけ。でもそういう話があるように人脈作りはしている。あとはタイミング」と謙虚でありながらも強い意思を感じさせる太田さん。2人の息子さんも修行を終えて現在は経営に関わっているが、これも本人達がやりたいと言ってきたタイミングと出店の話のタイミングが合ったという。

人との繋がりを大切に勝機を待つ。それが今の成功につながっているのは、タイミングだけでなく、人一倍苦労を重ねてきたからこそ培われた太田さん自身の人間力もあつてのことだろう。

編集後記

「ぶんり」も3号目を迎えて、お届けする情報が増えました。今号は大幅ページ増です。それだけ今の学生さんたちが活発に活動しているんですね。私たちぶんり編集室も負けずに頑張っていこうと思います。「ぶんり」は学生さんと読者のみなさまと一緒にこれからも成長していきます。

ぶんり編集室

みなさんからのメッセージをお寄せください!

「ぶんり」は卒業生の皆様の誌面でつなぐコミュニケーション誌です。

♣「ぶんり」への感想をお寄せください。

♣「ぶんり」でこんなものを読みたい、知りたいというリクエストも受付中。

♣その他、卒業生同士の交流の呼びかけや近況報告など。

E-mailやお便りでお送りください。

募集します!